授業科目	ウィメンズヘルス					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	杉浦　絹子						
授業概要	女性の健康および QOL は、政治・経済などの社会情況や人々の文化・価値観の影響を多大に受ける。women-centered care、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を中心に据え、女性の健康問題に関する最新のトピックスについて紹介し、どのような対応・対策や支援が求められるかについて考察する。						
授業形態	講義			授業方法	ディスカッション　PBL		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	今日の女性の健康問題について広い視野からとらえ、自身が選択したテーマについて情報収集し、それらを踏まえた自分の考えを小論文（レポート）に表現できる。
理想的レベル	今日の女性の健康問題について広い視野から深く洞察し、自身が選択したテーマについて多角的な視点から網羅的に情報収集し、それらを踏まえた自分の考えを小論文（レポート）に表現できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	80%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21604J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
母性看護学概論における既習内容について復習しておく。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション テーマ：性の商品化、性的搾取 概要：若い女性の被害の実態とその背景について共有し、解決のためには何が必要かを考える。
第 2 回	テーマ：性差医療 概要：男性と女性はジェンダーとしては等しい価値をもつものではあるが、生物学的には大きく異なるものである。男女間で圧倒的にどちらかに偏っている病態や疾患、治療法など性差を考慮した医療である性差医療について解説する。
第 3 回	テーマ：月経が女性の QOL および社会にもたらす影響 概要：月経が女性の QOL に及ぼす影響や社会的損失、女性の QOL を高める製品や技術開発（フェムテック）、女性自身ができる対処法、治療について解説する。

第 4 回	テーマ：予期せぬ妊娠とその対応・対策 概要：予期せぬ妊娠をした女性への支援（妊娠 SOS)、避妊に関する日本の現状について考える。
第 5 回	テーマ：多様な SOGI（性的指向、性自認）の人々を尊重する医療 概要：SOGI マイノリティの人々の医療現場における体験を基に、医療現場における対応のあり方を考える。
第 6 回	テーマ：卵子凍結 概要:：卵子凍結には医学的適応と社会的適応がある。社会的適応で卵子凍結を希望する女性たちの背景と社会的課題について考える。
第 7 回	テーマ：AYA 世代の乳がん患者への妊孕性温存に関する意思決定支援 概要：がん治療が AYA（Adulcent and Young Adult：15 歳から 39 歳）世代の女性の妊孕性に及ぼす影響と妊孕性温存に関する意思決定支援について解説する。
第 8 回	テーマ：非配偶者間人工授精(AID)・精子提供 概要：非配偶者間人工授精(AID)、精子提供により妊娠・出産する女性のリプロダクティブ・ライツと子どもの出自を知る権利等の課題について考える。
テキスト	特に定めない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・吉沢豊予子編　ウィメンズヘルスケア　助産師基礎教育テキスト 2024 年版　第 2 巻　日本看護協会出版会 ・病気がみえる　婦人科・乳腺外科　メディックメディア ・工藤美子編　助産概論・母子保健　助産師基礎教育テキスト 2024 年版　第 1 巻　日本看護協会出版会 ・渡邊浩子、板倉敦夫、松﨑政代編　母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護　メヂカルフレンド社 ・内閣府　男女共同参画局ホームページ　生涯を通じた女性の健康支援 https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/kenko/index.html ・厚生労働省研究班　女性の健康推進室　ヘルスケアラボ　https://w-health.jp/
課題に対するフィードバックの方法	ミニッツペーパーに書かれた質問等には、次の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。
学生へのメッセージ・コメント	日頃から女性の健康に関するニュース、新聞記事などを通して、女性の健康と社会、文化、環境との関連について考えるようにしてください。 助産(師）に関連する内容に興味がある方は積極的に受講してください。